

# 冷凍パン 実店舗拡大

## マルエや大阪メトロ地下街

冷凍パン宅配サービスを手掛けるパンフォーユー（桐生市本町、矢野健太社長）の商品を購入できる実店舗が拡大している。県内小売店として初めてマルエドラッグ中之条店（中之条町）が販売を始めたほか、16日には大阪市高速電気軌道（大阪メトロ、大阪市）が同市内に専門店を開業した。食品ロスが少なく、冷凍庫があれば手軽に入ることができるビジネスモデルとして冷凍パン事業への関心が高まっている。

冷凍のままパンを販売するため、調理器具などの設置は不要で初期投資を抑えられる。冷凍庫があれば、狭小なスペースでも参入できる。長期保存可能で食品ロスが少ない点など、冷凍パン事業はさまざまな企業から注目されている。

ドラッグストアを運営するクスリのマルエ（前橋市樋越町、江黒太郎社長）は、昨年末に開店した中之条店でパンフォーユーの冷凍パンの販売を始めた。カレーパンなどアルファルファ（同市上小出町）の6種類のパン（各税別220円）を冷凍食品コーナーに陳列。中之条店の担当者は「前橋の有名店のパンが買えると好評。地元企業との連携を盛り上げていきたい」と意欲をみせる。消費者の反

応を見て、取扱店舗の拡大を検討するという。

ドラッグストアでの店頭販売は全国初というパンフォーユーの広報担当者は、地域密着店での取り扱いで、より多くの県民に商品が届くと期待。「在宅時間が増えている時期なので保存に便利な冷凍パンを試してみたい」とアピールしている。

大阪メトロは、商業施設が立ち並ぶ大阪市内の地下街に冷凍パン専門店を開業した。4月16日まで営業し、将来性を検証する。

パンフォーユーが仕入れや物流、在庫を管理し、商品構成を提案する開業支援システム「ゴーストベーカーリースービス」が、大阪メトロの地域活性化事業

「1000のビジネスモデル創出」に選ばれたのが開業のきっかけだ。大阪メトロは「大阪の発展に貢献できるか、新ビジネスの発展可能性を探る」としている。



大阪メトロが運営を始めた冷凍パン専門店＝16日、大阪市